

2026年3月22日(日)

日本基督教団 大宮教会

大宮教会ビジョン

「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書 28 : 19~20)

受難節第5主日

朝第1礼拝 9:00~10:00

朝第2礼拝 10:30~11:45

<神の招き>

前奏 ① 汚れなき神の小羊 パッヘルベル
② ああ主よ、哀れな罪人われを ブクステフーデ

招きの詞 イザヤ書55:6~7

交読詩編 22:25~32

讚美歌 54

<神の言葉>

聖書 詩編68:1~5
(旧約 聖書協会共同訳 882頁)
エフェソの信徒への手紙4:7~16
(新約 聖書協会共同訳 348頁)

祈 禱

讚美歌 297

説教 「愛の内に成長する」 佐藤潤伝道師

祈 禱

黙 想

讚美歌 393

<神への応答>

使徒信条

献 金

主の祈り

宣教報告②

頌 栄 26

派遣と祝福

後 奏 ① 小羊が行きて罪を負いたまい パッヘルベル
② イエス十字架につき給い パッヘルベル

宣教報告①

サテライトチャーチ植竹礼拝 10:30~11:30

夕 礼 拝 18:00~19:00

<神の招き>

前 奏 愛するイエスよ、何の罪のゆえに パッハ
招きの詞 イザヤ書55:6~7

交読詩編 22:25~32

讚美歌 11

<神の言葉>

聖書 詩編46:2~12
(旧約 聖書協会共同訳 863頁)
ヨハネによる福音書9:1~7
(新約 聖書協会共同訳 180頁)

祈 禱

讚美歌 297

説教 「神の業が現れるために」

熊江秀一牧師

祈 禱

黙 想

讚美歌 449

<神への応答>

使徒信条

献 金

主の祈り

宣教報告

頌 栄 29

派遣と祝福

後 奏 おお、汚れなき神の小羊 パッヘルベル

ワーシップ(賛美礼拝) 14:00~15:00

説教「信仰がなくならないように」 熊江秀一牧師
ルカによる福音書22:31~34

賛美: 恵みと平安、わがたましいを歌え、主の手にわが手を重ね、主イエスの十字架の血で、誰かが祈ってる、主の祈り、土の器、種

次週の礼拝(3月29日) 棕櫚の主日

① 9:00、② 10:30 18:00

説教「この人を見よ」 熊江秀一牧師

イザヤ書53:1~12、

ヨハネによる福音書18:38b~19:7

[司式]②神部長老 [奏楽]①姉崎亜矢子姉②友成恵姉 中野綾子姉

交読詩編24:1~10

讚美歌16、298、280、29

■今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. レント（受難節）の歩みの為に
4. 関連幼稚園（大宮、植竹、白百合）の今年度の歩みを感謝して
5. 関東教区の宣教の為に
6. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
7. 病気の姉姉の為に

*関東教区お祈りカレンダー 埼玉中国伝道所 久喜復活伝道所 在日大韓新潟教会

◇先週の説教より「今日という日に励まし合って」へブライ人への手紙3章7～19節、詩編95編1～11節 熊江秀一牧師

神の言葉をテーマとしたこの手紙の第一部は、まじめに入る（～4：13）。そのためにこの手紙の説教者は、聖霊なる神の言葉（7節）として、詩編95編を引用する。この言葉は本来の詩編では「あなたがたは今日、主の声を聞きなさい」から始まる。私たちは心を傾けて主の声を聞くことが大切である。

しかし私たちの現実には「心をかたくな」にしていると語る。

その具体的な例として荒れ野の40年の旅を語る。「荒れ野で試練を受けた頃、神に背いた時」彼らの心はかたくなになり、神の業を見ながら、神を「試み、試し」た。

そんな民に対して主は怒り、誓われる。「彼らは決して私の安息に入ることはない」。

詩編95編は御言葉を聞く私たちの心がうたわれた歌、礼拝の招きの詩編である。「今日、主の声を聞き」、かたくなな心で御言葉を拒み、安息に入れない歩みをしてはならないのである。

そうならないためにこの説教者は『今日』という日のうちに、日々、励まし合いなさい」と勧める。「初めの確信を終わりまでしっかりと保つなら、キリストにあずかる者となる」と宣言する。「キリストにあずかる」は私たちがキリストの恵みを受けると共に、この恵みを分かち合うことである。

教会は分かち合う群れである。私たちの糧である御言葉を分かち合い、神の恵みを分かち合って『今日』という日に、日々励まし合って」歩む。その中で、私たちがかたくなな心は解きほぐされ、キリストに対する「初めの確信」を持ち続けることができる。

私たちは荒れ野のイスラエルの姿を、私たちへの警告として心に刻み、かたくなな心で不信仰に陥ってしまわないように、共に御言葉を聞き、その恵みを分かち合って歩み、初めの確信を持ち続けて歩んでゆこう。

*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈禱当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、夕は夕礼拝。